

ユーラシアンオペラプロジェクト 2018

Eurasian Opera Project 2018

2018.9.23 — 10.6

中央アジアからの声が 岩手に響く

ユーラシアンオペラプロジェクト・イン・盛岡

サインホ・ナムチラク

Sainkho Namtchylak

ヴォーカル

© Carolina Dutca

ユーラシアの現在、
現代のシャーマンの声を聴く

三浦宏予

Hiroyo Miura

ダンス

© mikomex

2018年10月4日 [木]

開場 19:00 開演 19:30

もりおか町家物語館
浜藤ホール

主催：音楽詩劇研究所盛岡支部

共催：盛岡市、特定非営利活動法人 いわてアートサポートセンター

制作：音楽詩劇研究所

河崎純

Jun Kawasaki

コントラバス

シベリアの森とモンゴルの草原の会う場所 ——トウバの民謡と即興演奏

中央アジアのトゥバ共和国出身の歌手サインホ・ナムチラクに
国内外で創作活動を展開する音楽詩劇研究所の河崎純と岩手出身の三浦宏予がダンスで加わる
ジャンルを超えた国際交流的パフォーマンス!



サインホ・ナムチラク ヴォーカル、美術家、書家（トゥバ共和国）

候歌などの伝統歌唱とエレクトロニクスを駆使し、シャーマニズムや仏教的な儀式に裏打ちされたパフォーマンスを世界に発信する遊牧地域出身の現代のシャーマン。長らく女性が歌うことを禁じられてきた伝統の「喉歌=フーメイ」（モンゴルのホーミーに類似）を覚え、少女時代から地元では民謡歌手の第一人者として活動。神秘の響きを持つ喉歌と7オクターブの声域、千の声をもつといわれる表現力で伝統芸に留まらず、世界の音楽シーンに衝撃を与えてきた。アイスランドの歌手ビョークはサインホからの影響が知られている。

トゥバ共和国の中でもモンゴルとの国境近くの小さな村で生まれた彼女の音楽的なインスピレーションは、南シベリアからモンゴルまで続く無限の砂漠と草原（ステップ）の遊牧の民だった祖母が歌う子守唄からもたらされた。そして彼女は、幸せなときも、悲しいときも感じるままに歌う社会の中で成長していった。その後、トゥバ共和国の国立民族音楽団の歌手としてキャリアをスタートし、ヨーロッパ、オーストラリア、ニュージーランド、カナダを回るツアーをおこなう。

1988年には、民族的要素と現代的な要素を組み合わせたスタイルをつくり出そうと試みる旧ソ連のジャズアンサンブル Tri-0 の主要メンバーとして西洋のメディアから注目を集め、その表現は驚きをもって迎えられた。また、ヨーロッパの音楽家とも積極的にコラボレートしており、1993年にヨーロッパのレーベルから『Out of Tuva』を発表し世界の音楽シーンに衝撃を与えた。

美術家、書家でもあり、民族の叙事詩を用い、声の表現やエレクトロニクス、ライブペインティングを融合させた総合的なパフォーマンスを、ウィーンを拠点に世界各地で行っている。広い声域と技術、芸術的なりサーチと文化的・宗教的背景に裏打ちされた彼女のパフォーマンスは「過去も、現在の最先端あるいは未開の領域までも、聴かせ、旅させる」と評されている。

河崎純 作曲家、演出家、コントラバス奏者

演劇、ダンスなど舞台の音楽監督としてこれまで約70作品の作曲を担当。音楽詩劇研究所を主宰し、2018年はこれまでロシア、トルコ、ドイツなどでコラボレーションを続けてきた海外アーティストを招聘し「ユラシアンオペラプロジェクト2018」として東京で発表する。主な作品に日本舞踊西川千鶴『カミュ・クローデル』、Port B『プレヒト演劇祭の約1時間20分』、静岡県舞台芸術センター（SPAC）『大人と子供によるハムレットマシン』、江戸糸あやつり人形座『マダム・エドワルド』など。各地でパフォーマンス作品のワークショップやレクチャー、トークもおこなっている。

三浦宏予 ダンサー、俳優

演劇、オペラ、クラブや美術館、ギャラリーでのイベント、映像作品に出演。2001年より、生まれ故郷の岩手県遠野市に伝わる早池峰神楽を鈴木廣志に師事。出雲大社奉納、古代かがり火祭り（佐賀江北町）など祭祀での出演も多い。シャーマニズム、アニミズムに興味を持ち、その延長線上でダンスや演劇に携わる。演劇、ダンス作品への出演やコンテンポラリーダンスの独舞公演、振り付けも行う。音楽詩劇研究所では、東京公演のほか、アルメニア、ロシア、ブリヤート共和国での公演に参加した。

音楽詩劇研究所

これまで代表の河崎純作曲・演出による公演やワークショップなど、東京を中心に活動をおこなう。2016年からは、アルメニア、ロシア、ブリヤート共和国、トルコ、ウクライナなどユーラシア大陸の各地域で様々な出自を持つアーティストたちとコラボレーションを行ってきた。日本や世界各地の芸能やフォークロアを遡りつつ、民族儀礼や宗教、古典音楽のいずれの手法にもよらない独自の合唱システムを用いた音楽劇は、スペインのガルシア・ロルカの創作や、ガルシア・マルケスなど現代の中南米等のラテンアメリカートの伝統にもつながり、いわば〈アジア版マジックリアリズム〉とも評されている。

入場料

前売：2,500円 当日：3,000円

*10歳未満のお客様は保護者同伴でもご入場いただけません。

市内プレイガイド（もりおか町家物語館、カワトク、プラザおでつて）にて8月6日より発売開始

お問い合わせ

音楽詩劇研究所盛岡支部

〒020-0816 岩手県盛岡市中野1-10-34

e-mail: onnyk@gamma.ocn.ne.jp

音楽詩劇研究所

e-mail: info@musicpoeticdrama.com

HP: <http://www.musicpoeticdrama.com>

会場

もりおか町家物語館 浜藤ホール

〒020-0827 盛岡市鉤屋町10番8号

tel. 019-654-2911 <http://machiya.iwate-arts.jp>

【バスでお越しの場合】

- 盛岡駅バス乗り場から13番乗り場より、矢巾営業所行き乗車「南大通二丁目」降車 徒歩7分
- 盛岡駅バス乗り場から5番乗り場より、盛南ループ「200」菜園先回り（右回り）「南大通二丁目」降車 徒歩7分

【車でお越しの場合】

- 盛岡南ICから20分（盛岡方面▶国道4号線左折▶南大橋左折▶ユニバース鉤屋町店右折）
- 盛岡ICから30分（盛岡方面▶西バイパス北口右折▶直進▶国道4号線左折▶南大橋左折▶ユニバース鉤屋町店右折）
- 盛岡駅から15分
- 旧盛岡バスセンターから5分

